

大腿骨近位部骨折の入院治療計画書(手術:

手術日:平成 年 月 日)

患者氏名: 様

入院日:平成 年 月 日 主治医: 担当看護師: 担当リハビリ: 説明日:平成 年 月 日

経過	手術前日	当日術前	当日術後	術後1日目～	手術後2～6日	手術後7～13日	手術後14～20日
月日	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
目標	体調を整えて手術を受けることができる	痛みをコントロールすることができる	リハビリを開始できる	車椅子に乗り移ることができる	平行棒内で立つことができる	平行棒内で歩くことができる	
検査	手術に必要な検査を行います		手術後エックス線撮影を行ってから部屋に戻ります	血液検査を行います		血液検査を行います(手術後7日頃)	エックス線撮影を行います(手術後14日頃)
エックス線							
食事	食事制限はありません(必要時は特別食)	朝から絶食です。水分制限の時間は、手術開始時間により異なりますので、お知らせします	腸が動く音を確認するまでは絶食です。許可がでたら、まず飲水をします。むかつきがなければ食事も可能になります	朝より食事が始まります(必要時は特別食)	必要に応じて、栄養士より食事の説明があります		
治療処置	ストッキングの採寸を行います	手術着に着替えます。手術しない方の足にストッキングを履いたまま、手術30分前に移動用ベッドで手術室に行きます	ストッキングを履いて手術室より帰ってきます。血栓予防のため機械を足につけます。手術後、体温、血圧などの測定のために看護師が伺います	出血などがあればガーゼ交換を行います。ストッキングをはずします	歩行訓練を開始すればストッキングをはずします。手術後7日目にガーゼ交換を行います。手術後13日目に抜糸を行います		
注射内服	いつも飲んでる薬がある方は看護師に渡してください。血をサラサラにする薬を中止する場合があります。痛みがあれば痛み止めを使います。就寝前に胃薬、下剤、必要であれば睡眠薬を飲んでいただきます	()時から点滴を開始します ()時に胃薬を飲んでいただきます	翌日まで点滴を続けます	抗生物質の点滴を行います(朝・夕1日間) 痛み止めと胃薬を飲みます(朝・夕7日間)	必要に応じて、薬剤師よりお薬の説明があります		
リハビリ	筋力・関節可動域の測定をします。ベッド上でできるリハビリを行います(理学療法士が伺います)			リハビリを再開します	動ける範囲でリハビリを進めていきます。ご家族にはリハビリを見学していただけます		
生活動作	ベッド上で安静にしてください(痛くない範囲で座ることはできます)。必要に応じて足を牽引します。尿の管が入ります	ベッド上で安静にしてください	ベッド上で安静にしてください	『骨接合術を受けられた方』 → 座ったり、車椅子に乗れます。痛みのない範囲で足を地面に着けます。 『人工骨頭置換術を受けられた方』 → 『その他の方』 →	『骨接合術を受けられた方』 → 特に制限はありません。痛みのない範囲で動けます。 『人工骨頭置換術を受けられた方』 → 術後3日目から痛みのない範囲で足を地面に着けます。ただし、管が入っている場合はベッド上安静です。創部に入っている管が抜けたら枕を外します。		
清潔	シャワーに入ってください。牽引などによりシャワーに入れない場合は、体を拭きます			体を拭きます		7日目からシャワー浴ができます	
説明	入院誓約書を出していただきます。医師より説明:手術について。回復期リハビリテーション病院との連携について(承諾書を出していただきます)。麻酔科医より説明:手術の麻酔について。看護師より説明:入院生活について。手術の準備物品・術後の注意事項について。医療社会事業部へ紹介	医師より説明。家族に手術の結果について		医師より説明。本人に手術の結果について。看護師より説明。リハビリの必要性・移動の方法など	・入院費用概算 一般3割負担 約56万円(食事代を含む) 前期・後期高齢者3割負担 約11万円(食事代を含む) 前期・後期高齢者1割負担 約7万円(食事代を含む) ※但し、手術時における使用機材等によっても費用が大幅に変わることもございますので、予めご了承下さい。		
機能評価的価値							

※状況により予定を変更する場合があります。ご不明な点がございましたら、スタッフまでお尋ね下さい。

患者氏名

同席者氏名